

第8章 地域社会との関わり【問26～問30】

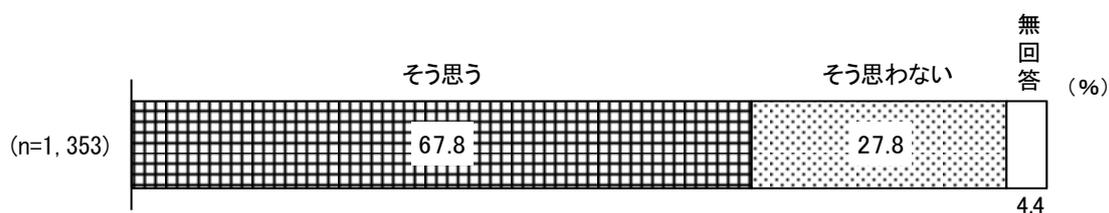
1 地域社会との関わり方に関する意識【問26】

【全体の状況】

長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしているか尋ねたところ、「そう思う」が67.8%であった。

一方、「そう思わない」は、27.8%であった。(図表8-1-1)

図表8-1-1 地域社会との関わり方に関する意識



【地域別の状況】

地域別にみると、「そう思う」は、県西が73.8%で最も多かった。

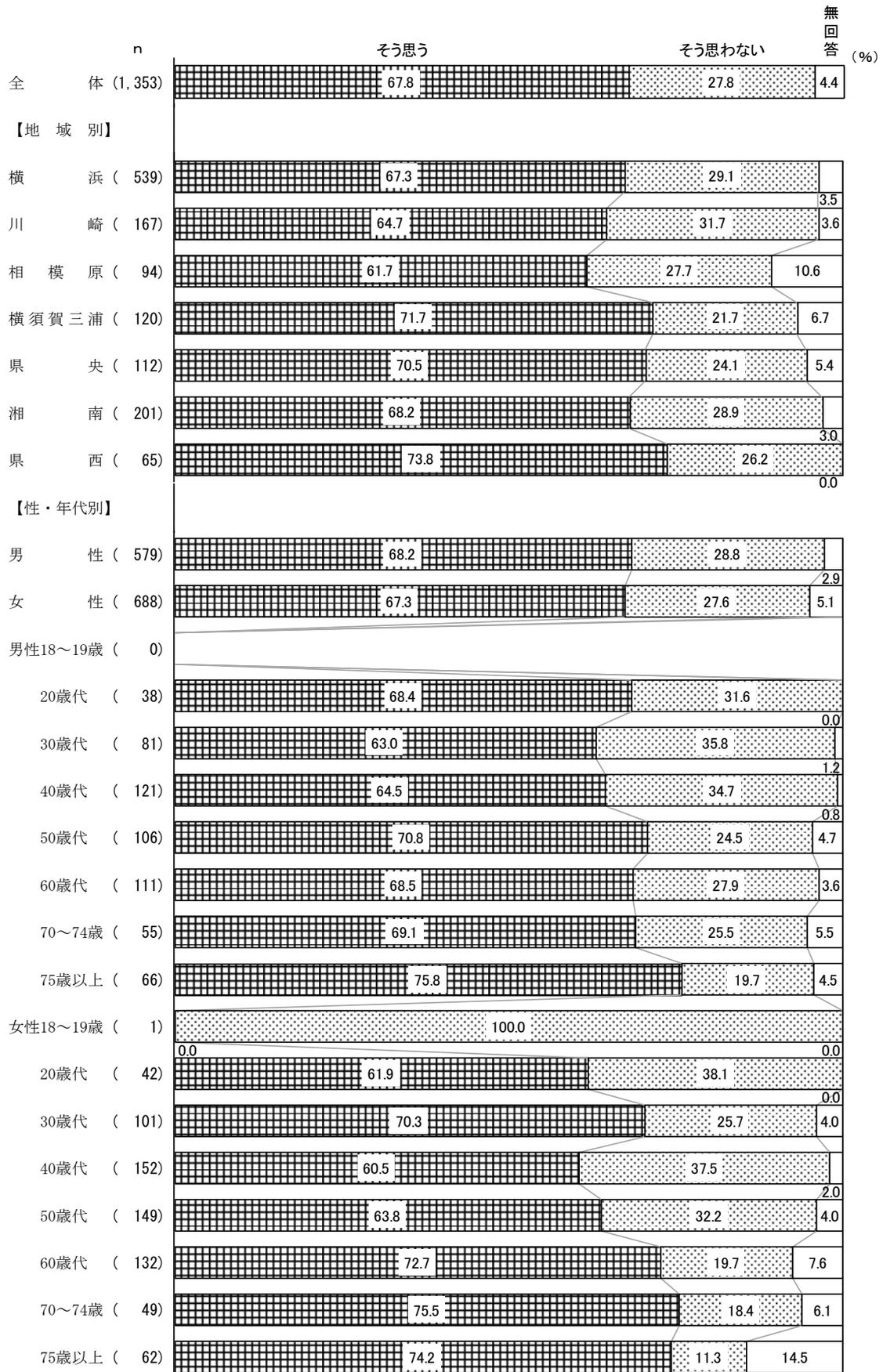
一方、「そう思わない」は、川崎が31.7%で最も多かった。(図表8-1-2)

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「そう思う」は、男性の75歳以上が75.8%で最も多く、次いで女性の70～74歳が75.5%であった。

一方、「そう思わない」は、サンプル数の少ない女性の18～19歳を除くと、女性の20歳代が38.1%で最も多く、次いで女性の40歳代が37.5%であった。(図表8-1-2)

図表8-1-2 地域社会との関わり方に関する意識—地域別、性・年代別

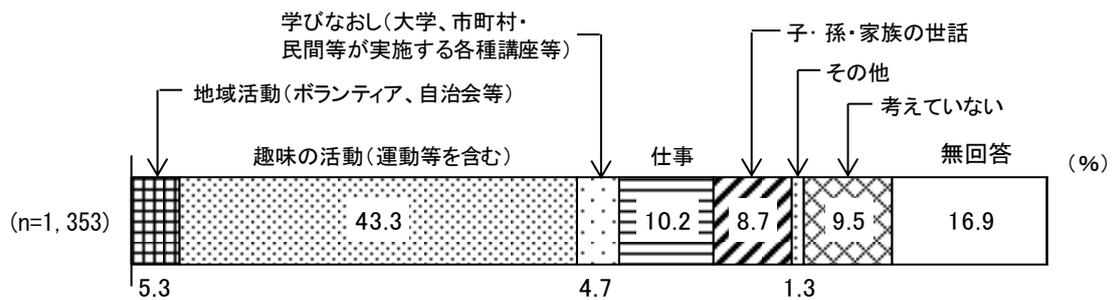


2 退職後や65歳以降の人生でやりたいこと【問27】

【全体の状況】

退職後や65歳以降の人生でやりたいと考えていることを尋ねたところ、「趣味の活動（運動等を含む）」が43.3%で最も多く、次いで「仕事」が10.2%であった。（図表8-2-1）

図表8-2-1 退職後や65歳以降の人生でやりたいこと



【地域別の状況】

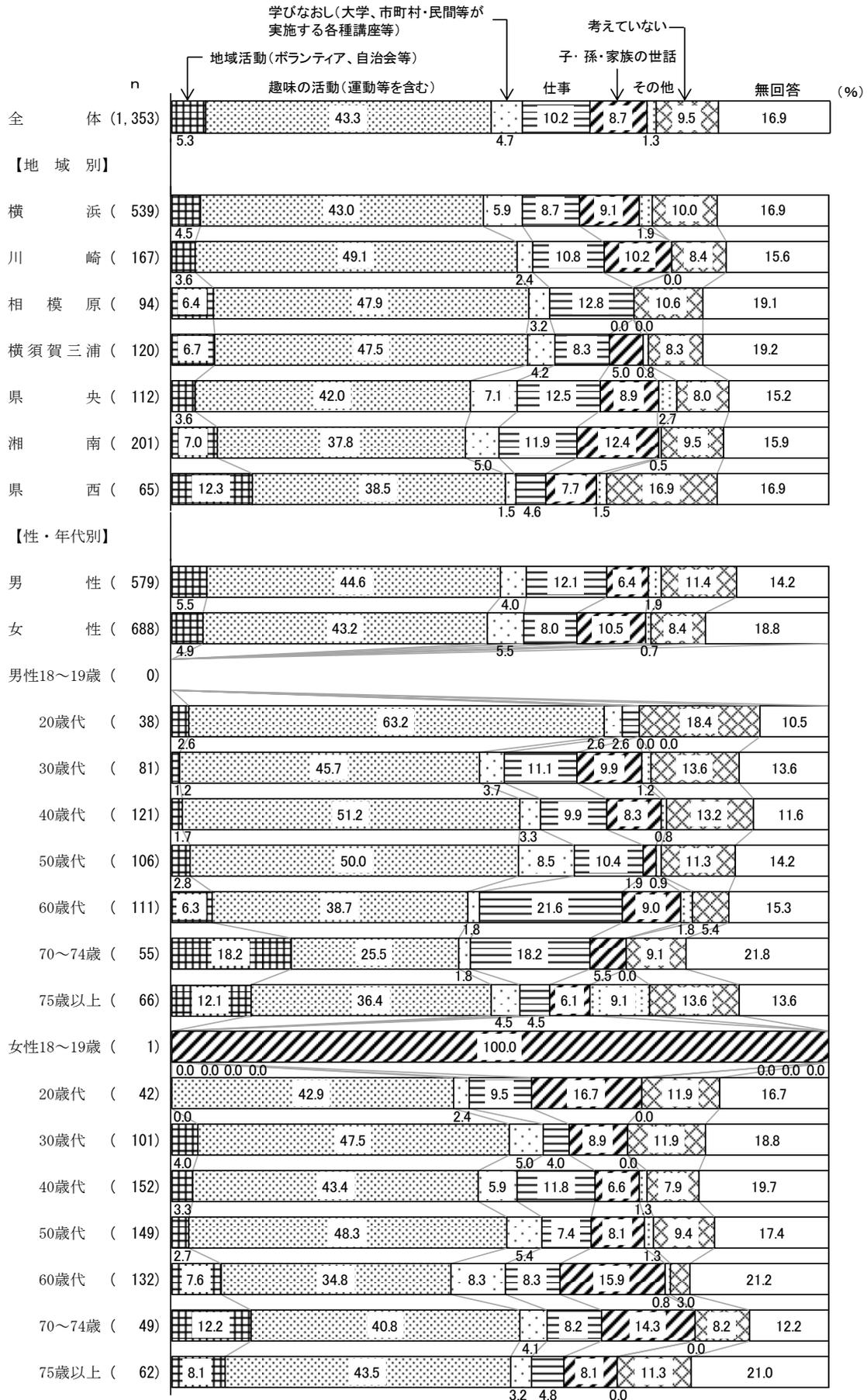
地域別にみると、「趣味の活動（運動等を含む）」は、川崎が49.1%で最も多く、相模原（47.9%）と横須賀三浦（47.5%）が続いた。また、「考えていない」は、県西が16.9%で最も多かった。

（図表8-2-2）

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「趣味の活動（運動等を含む）」は、男性の20歳代が63.2%で最も多く、男性の40歳代（51.2%）・50歳代（50.0%）が続いた。（図表8-2-2）

図表8-2-2 退職後や65歳以降の人生でやりたいことー地域別、性・年代別



3 地域活動への参加頻度【問28】

【全体の状況】

地域活動（ボランティア、自治会等）の参加頻度について尋ねたところ、「参加していない」が53.4%で最も多く、次いで「年に1、2回程度」が15.2%であった。（図表8-3-1）

図表8-3-1 地域活動への参加頻度



【地域別の状況】

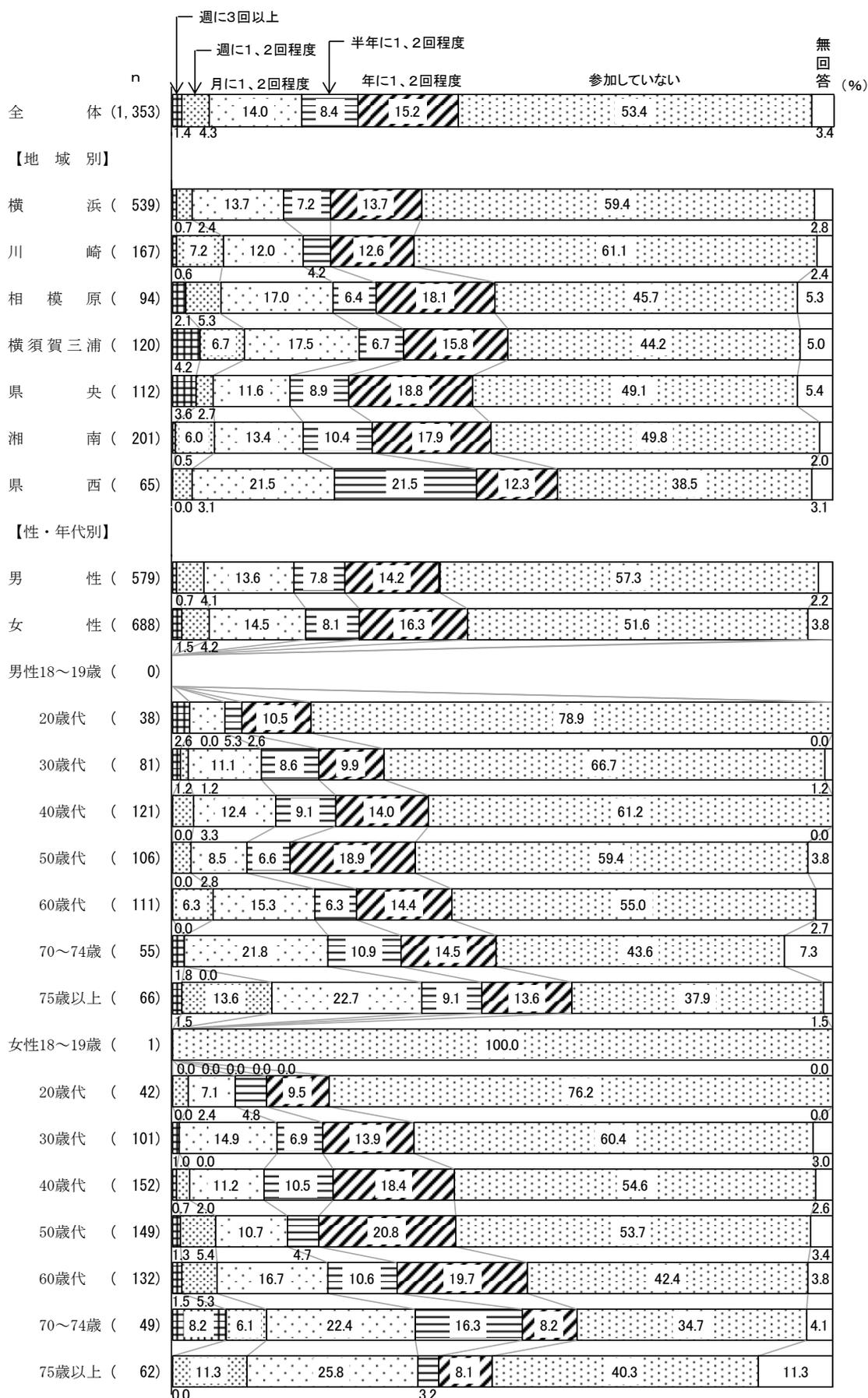
地域別にみると、「参加していない」は、川崎が61.1%で最も多く、次いで横浜が59.4%であった。（図表8-3-2）

【性・年代別の状況】

性別にみると、「参加していない」は、男性（57.3%）が女性（51.6%）を5.7ポイント上回った。

性・年代別にみると、「参加していない」は、サンプル数の少ない女性の18～19歳を除くと、男女ともに20歳代（男性78.9%、女性76.2%）が最も多かった。また、「月に1、2回程度」は、男女ともに75歳以上（男性22.7%、女性25.8%）が最も多かった。（図表8-3-2）

図表8-3-2 地域活動への参加頻度—地域別、性・年代別

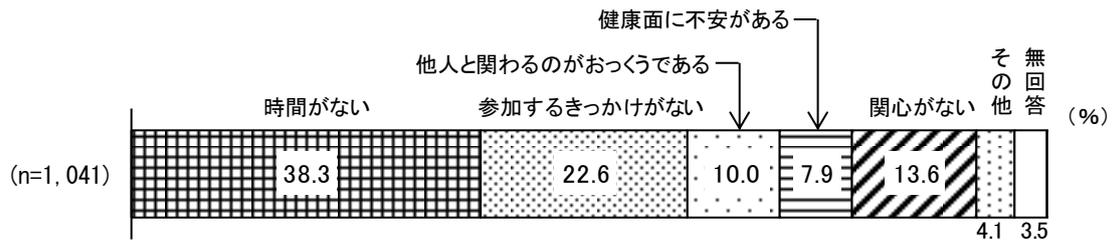


4 地域活動の参加の妨げとなる理由【問28-1】

【全体の状況】

地域活動への参加頻度（問28）で「半年に1、2回程度」、「年に1、2回程度」、「参加していない」のいずれかを選択した1,041人に地域活動の参加の妨げとなる理由を尋ねたところ、「時間がない」が38.3%で最も多く、次いで「参加するきっかけがない」が22.6%であった。（図表8-4-1）

図表8-4-1 地域活動の参加の妨げとなる理由



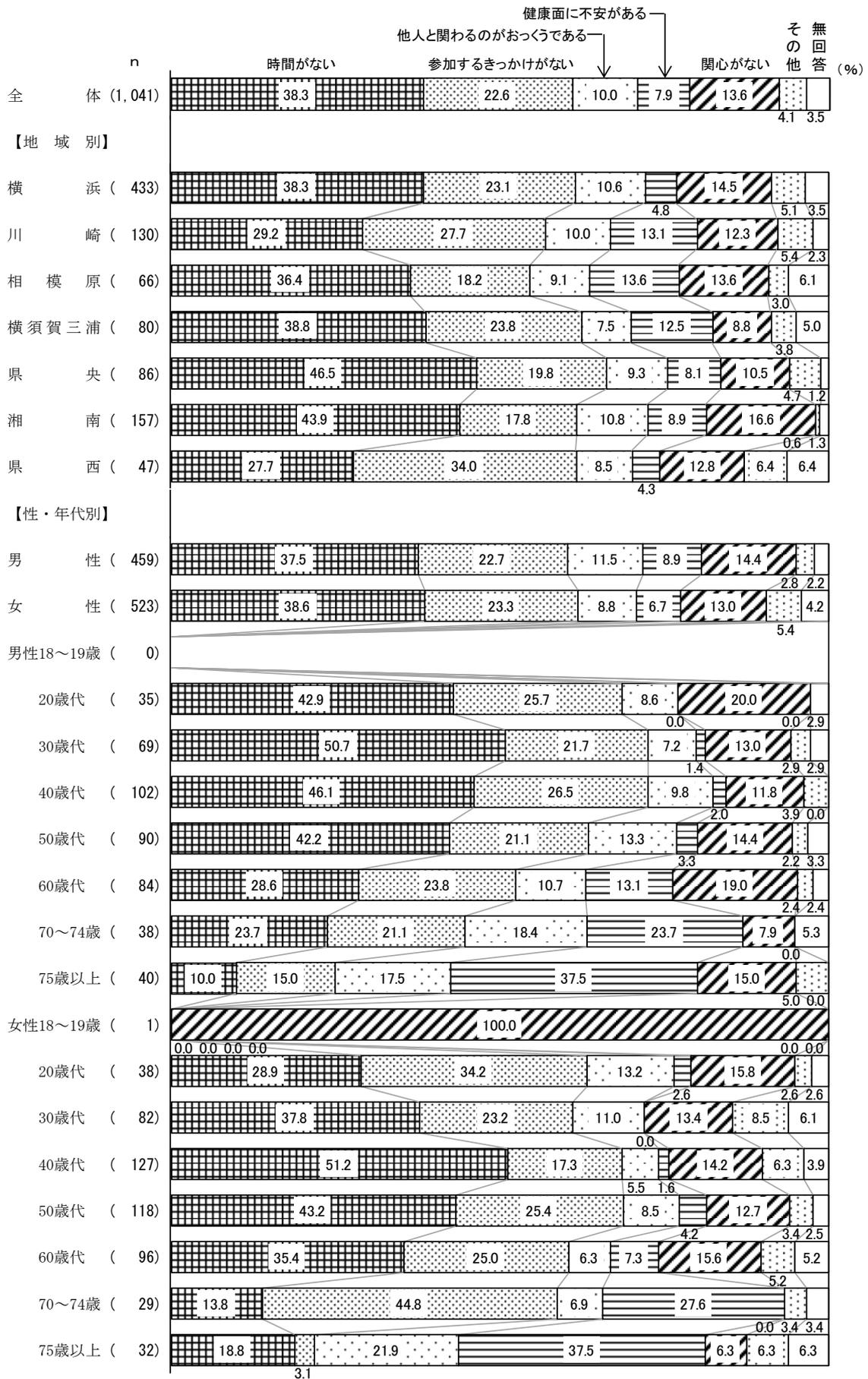
【地域別の状況】

地域別にみると、「時間がない」は、県央（46.5%）と湘南（43.9%）がともに4割台であった。また、「参加するきっかけがない」は、県西が34.0%で最も多く、川崎（27.7%）、横須賀三浦（23.8%）、横浜（23.1%）が2割台で続いた。（図表8-4-2）

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「時間がない」は、男性の30歳代（50.7%）と女性の40歳代（51.2%）がともに5割を超えた。また、「参加するきっかけがない」は、女性の70～74歳が44.8%で最も多かった。（図表8-4-2）

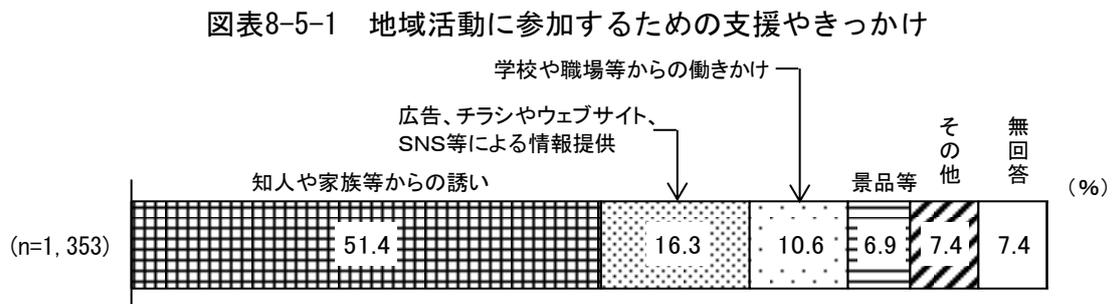
図表8-4-2 地域活動の参加の妨げとなる理由—地域別、性・年代別



5 地域活動に参加するための支援やきっかけ【問29】

【全体の状況】

地域活動に関して、どのような支援やきっかけがあれば参加しやすくなると思うか尋ねたところ、「知人や家族等からの誘い」が51.4%で最も多く、次いで「広告、チラシやウェブサイト、SNS等による情報提供」が16.3%であった。（図表8-5-1）



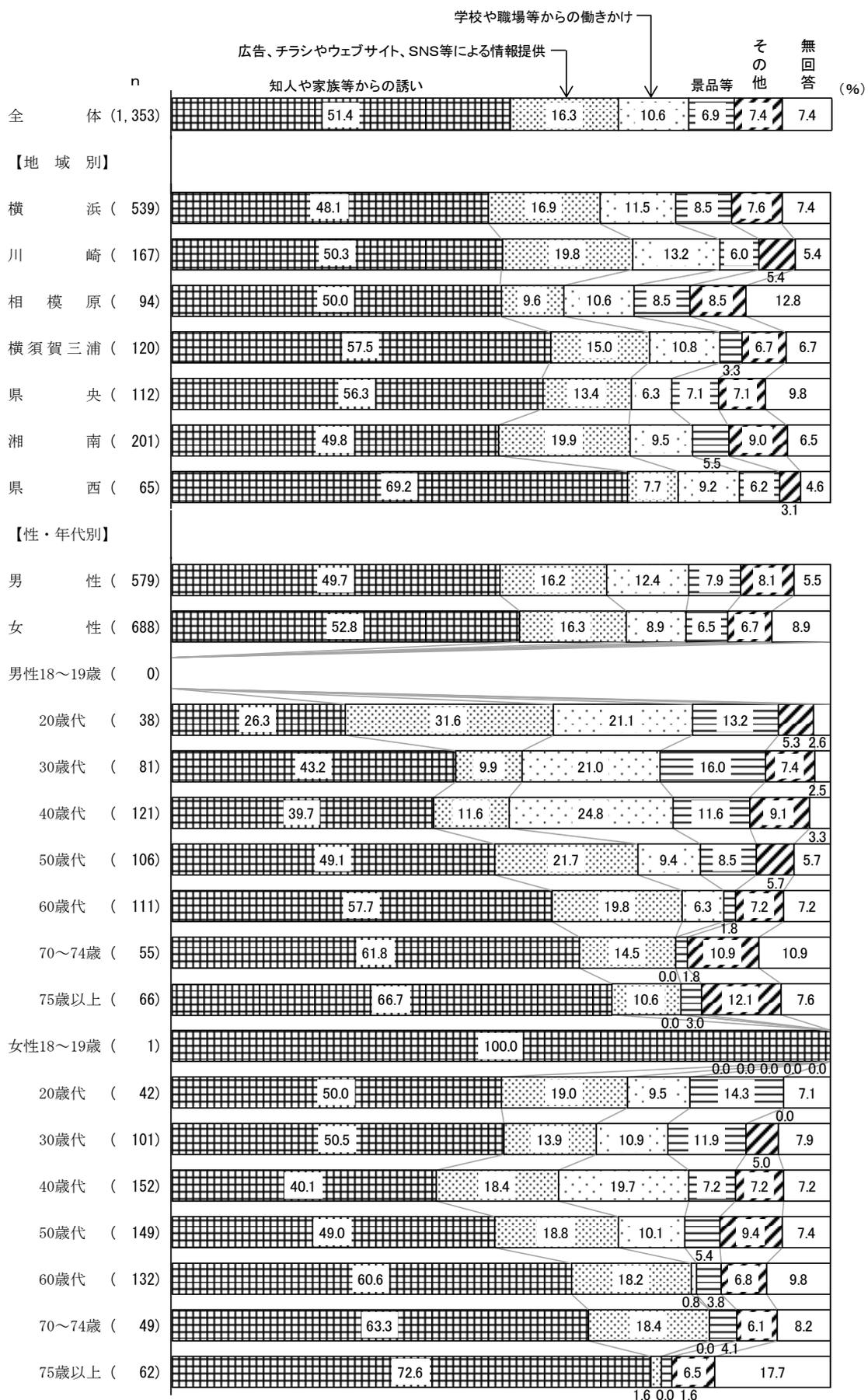
【地域別の状況】

地域別にみると、「知人や家族等からの誘い」は、県西が69.2%で最も多かった。また、「広告、チラシやウェブサイト、SNS等による情報提供」は、湘南が19.9%で最も多く、川崎（19.8%）と横浜（16.9%）が続いた。（図表8-5-2）

【性・年代別の状況】

性・年代別にみると、「知人や家族等からの誘い」は、サンプル数の少ない女性の18～19歳を除くと、男女ともに75歳以上（男性66.7%、女性72.6%）が最も多かった。また、「広告、チラシやウェブサイト、SNS等による情報提供」は、男性の20歳代が31.6%で最も多く、次いで男性の50歳代が21.7%であった。（図表8-5-2）

図表8-5-2 地域活動に参加するための支援やきっかけ—地域別、性・年代別

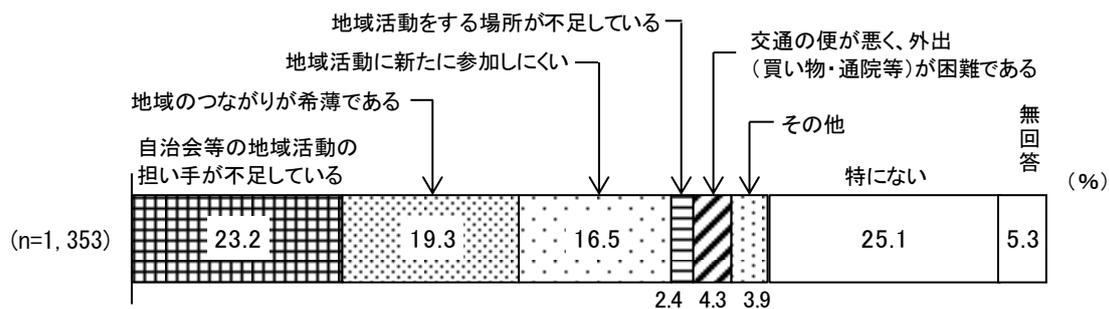


6 地域での課題【問30】

【全体の状況】

住んでいる地域で課題だと感じていることを尋ねたところ、「特にない」が25.1%で最も多く、次いで「自治会等の地域活動の担い手が不足している」が23.2%であった。(図表8-6-1)

図表8-6-1 地域での課題



【地域別の状況】

地域別にみると、「自治会等の地域活動の担い手が不足している」は、県央(31.3%)と相模原(30.9%)がともに約3割であった。また、「地域のつながりが希薄である」は、川崎が26.3%で最も多く、相模原(23.4%)と横須賀三浦(20.0%)が続いた。(図表8-6-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「地域のつながりが希薄である」は、男性(23.8%)が女性(15.8%)を8.0ポイント上回った。

性・年代別にみると、「自治会等の地域活動の担い手が不足している」は、男性の75歳以上が33.3%で最も多く、女性の40歳代(28.9%)・70~74歳(28.6%)が続いた。また、「地域のつながりが希薄である」は、男女ともに70~74歳(男性29.1%、女性32.7%)が最も多かった。(図表8-6-2)

図表8-6-2 地域での課題—地域別、性・年代別

